



住江織物株式会社

2012年5月期第2四半期 決算概況



**Resources
for the future.**

SUMINOE TILE CARPET

ECOS is a newly innovated recycled carpet tiles product which dramatically reduces CO₂ levels and contributes to the conservation of valuable natural resources for our future. The recycled material used in the ECOS backing is made up of used carpet tiles only. No plastic waste products are used at all. ECOS has overturned conventional wisdom by achieving about 70% level in recycled materials, greatly reducing the product's lifetime CO₂ emissions.

ECOS

- 1 表紙
- 2 目次
- 3 2012年5月期第2四半期(11/6~11/11)連結業績
- 5 連結業績の事業セグメント別内訳
- 6 インテリア事業
- 7 自動車・車両内装事業
- 9 機能資材事業
- 10 連結B/S 連結C/F
- 11 2012年5月期見通し
- 13 2012年6月からスタートする3ヵ年中期経営計画策定に向けて
- 15 株主配当について
- 16 循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS」グッドデザイン賞を受賞

●Profit and loss statement

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比		期初計画	期初計画比	
			(%)	(増減額)		(%)	(増減額)
売上高	36,223	37,112	△2.4%	△888	35,600	1.8%	623
営業利益	172	827	△79.1%	△654	50	244.0%	122
営業利益率	0.5%	2.2%			0.1%		
経常利益	241	1,071	△77.5%	△830	170	41.8%	71
経常利益率	0.7%	2.9%			0.4%		
四半期純利益(損失)	△157	426	—	△584	50	—	△207
四半期純利益率	—	1.1%			0.1%		

連結売上高は**362**億23百万円

(前年同期比8億88百万円減、期初計画比6億23百万円増)

連結営業利益は**2**億41百万円

(前年同期比8億30百万円減、期初計画比71百万円増)

■連結売上高および営業利益

東日本大震災の影響によって引き起こされた生産活動の低下から緩やかながら回復したものの、欧州の金融不安や米国の景気減速、急激な円高進行に加え、タイの洪水によって再び世界的なサプライチェーンの分断が起きるなど、依然として不透明な経済情勢が続いた。

インテリア事業および自動車内装事業は、第2四半期に震災の復興需要などのプラス要素が見られたものの、第1四半期の減収が影響し、その結果、連結売上高、営業利益ともに期初計画は上回ったものの、前年同期を下回った。

■連結経常利益

営業利益の減益に、持分法による投資損失72百万円等が加わり、経常利益は前年同期比8億30百万円減の2億41百万円となった。

■連結四半期純損失

特別損失に有価証券評価損や東日本大震災の災害損失等を2億39百万円計上したため、前年同期比5億84百万円減となり、四半期純損失1億57百万円となった。

●Segment information

連結売上高		当第2四半期	前年同期	前年同期比(%)	前年同期比(額)
	インテリア	16,344	16,178	1.0%	165
	自動車・車両内装	17,168	18,734	△8.4%	△1,566
	機能資材	2,651	2,124	24.8%	526
	その他	58	74	△21.1%	△15
	セグメント合計	36,223	37,112	△2.4%	△888

営業利益		当第2四半期	前年同期	前年同期比(%)	前年同期比(額)
	インテリア	△3	281	—	△284
	自動車・車両内装	561	1,008	△44.3%	△446
	機能資材	189	87	114.9%	101
	その他	20	25	△20.2%	△5
	調整額	△594	△575	—	△19
セグメント合計	172	827	△79.1%	△654	

コア商品であるカーペットを中心にカーテン、壁紙等を販売

連結売上高 **163**億44百万円

(前年同期 161億78百万円)

連結営業損失3百万円

(前年同期営業利益 2億81百万円)



「ECOS 循環型リサイクルタイルカーペット」

■前年同期比1億65百万円増収、2億84百万円減益

(オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペット)

東日本大震災後の復興需要があったが、新たな設備投資の中止、先送り等の影響を受け、売上高は前年同期を下回った。

(一般家庭向けカーペット、ラグマット)

消費動向が定まらない状況下だったが、売上高は前年同期を上回った。

(カーテン)

主力の「mode S (モードエス) Vol.5」に加え、「デザインライフ」と「ディズニーシリーズ」が売上高を伸ばし、医療・福祉・教育施設向けコントラクトカーテン「Face Vol.17」も引き続き受注を伸ばした結果、売上高は前年同期を上回った。

(壁紙)

進化する空気を洗う壁紙シリーズ「クラフトライン」を収録した「ルノンホーム1000」に加え、量産型壁紙「マークII Vol.19」が堅調に推移し、前年同期を上回った。



「ディズニーホームシリーズ」

フロアカーペット、シート表皮材、天井表皮材等、自動車内装材をトータルで販売

車両内装分野を合わせた連結業績

連結売上高 **171** 億68百万円

(前年同期 187億34百万円)

連結営業利益 **5** 億61百万円

(前年同期 10億8百万円)



ホンダ フィットシャトル／フィットシャトルハイブリッド
スエード調シート表皮材

■前年同期比15億65百万円減収、4億46百万円減益

(国内)

国内の自動車生産が東日本大震災の影響から回復し増産体制となった矢先に、昨年10月に発生したタイの洪水による自動車生産の停滞の影響を受け、当社の自動車向けカーペット事業とスミノエ テイジン テクノ株式会社のシート表皮材事業は、売上高、営業利益ともに前年同期を下回った。

(海外)

海外の自動車生産も同震災の影響から脱却しつつあるものの、米国子会社STAは、売上高と営業利益ともに前年同期を下回り、中国子会社SPMは、売上高は前年同期を上回ったが、営業利益は前年同期を下回った。

鉄道・バスにシート表皮材やカーペット、 リサイクル性に優れたシートクッション材「スミキューブ®」等を販売

前年同期に受注したJR東日本の新造車両大型案件が一段落し、シート表皮材の張替え工事も縮小していることに加え、東日本大震災の影響による各得意先の更なる予算の引き締めが重なり、厳しい市場環境となった。新規商材であるオレフィン系表示床材「OHフィルム」等の環境商材の拡販に努めたものの、売上高と営業利益ともに前年同期を大きく下回った。



大阪市交通局 地下鉄御堂筋線30000系新型車両
シート表皮材:ウールドビーモケット
シートクッション材(背・座):スミキューブ®

ホットカーペット事業、タイルカーペット輸出事業と
独自消臭加工技術によるフィルター事業を展開

連結売上高 **26** 億51百万円

(前年同期 21億24百万円)

連結営業利益 **1** 億89百万円

(前年同期 87百万円)

■前年同期比5億26百万円増収、1億1百万円増益

ホットカーペットは、省エネ商品として見直されて需要が拡大し、受注台数が大幅に伸びたことから、売上高が増加した。タイルカーペットのOEM販売は、国内向けは堅調に推移したものの、円高により輸出が減少したため、売上高は微減となった。消臭関連では、家電向け空気清浄機用フィルターの新規受注や既存のフィルター販売が伸び、また、一般家庭向け置き型消臭商品「香りでごまかさない 本当の消臭」も順調に販売数を増やしたことから、売上高は増加となった。



Tispaシリーズ 脱臭・消臭剤
「香りでごまかさない 本当の消臭」



シャープ株式会社 空気清浄機
最上級クラス(KI-AX80,KI-AX70)に
トリプルフレッシュ®バイオフィルターを納入

Balance sheet	前期末	当第2四半期
総資産	72,877	74,655
現預金	8,247	5,069
売上債権	17,260	21,884
たな卸資産	10,587	11,353
その他の流動資産	3,314	3,382
有・無形固定資産	26,636	26,503
投資その他の資産	6,831	6,462
総負債	44,776	47,326
仕入債務	14,335	16,721
短期借入金および一年以内償還社債	12,567	11,956
その他流動負債	3,675	3,556
長期借入金・社債	3,478	3,750
その他固定負債	10,719	11,341
純資産	28,101	27,329
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	6,898	6,551
自己株式	△329	△330
有価証券評価差額金	△81	△169
土地再評価差額金	7,185	7,185
その他評価・換算差額	△620	△851
少数株主持分	2,844	2,737

【売上債権】

東日本大震災の影響から前期末実績が減少していたことに加え、当第2四半期は、受注好調なホットカーペットの売上債権が増加したこと等により、前期比46億24百万円増の218億84百万円となった。

【たな卸資産】

一般家庭向けラグ・マット、壁紙等のインテリア商品の生産増により、前期比で7億66百万円増の113億53百万円となった。

【キャッシュ・フロー】

仕入債務の増加24億70百万円による資金増に対し、売上債権の増加47億77百万円の資金減等があり、営業キャッシュフローは△19億25百万円となった。投資活動のキャッシュフローは、有形固定資産の取得11億37百万円の資金支出等から△10億67百万円となった。

Statement of cash flows	前年同期	当第2四半期
営業活動によるC/F	591	△1,925
投資活動によるC/F	△570	△1,067
財務活動によるC/F	△1,473	78
換算レート変動の影響	△90	△63
期中の増減額	△1,542	△2,978
期首の現金残高	8,564	7,827
期末の現金残高	7,021	4,849

全社合計、セグメント内訳ともに期初計画より変更なし

売上高 **740** 億円

営業利益 **13** 億円

経常利益 **16** 億円

当期純利益 **8.5** 億円

		売上高	営業利益
セグメント内訳	インテリア	32,200	530
	自動車・車両内装	37,700	1,820
	機能資材	4,000	80
	その他	100	30
	調整額	—	△1,160
	セグメント合計	74,000	1,300

東日本大震災の影響による景気低迷から緩やかに回復しているものの、欧州の経済不安やタイの洪水被害などにより、日本経済の先行きは不透明さを増している。このような状況を鑑み、2012年5月期見通しは、期初計画を据えおき、売上高740億円、営業利益13億円、経常利益16億円、当期利益8億50百万円とする。

連結業績の推移 (単位:百万円)

	第118期(2007年5月)		
	上期	下期	実績
売上高	38,698	37,972	76,670
営業利益	1,116	908	2,024
経常利益	1,279	723	2,002
当期純利益	2,372	348	2,720

	第119期(2008年5月)		
	上期	下期	実績
売上高	40,919	39,950	80,869
営業利益	1,266	1,036	2,302
経常利益	1,253	135	2,288
当期純利益	612	370	982

	第120期(2009年5月)		
	上期	下期	実績
売上高	40,981	30,393	71,374
営業利益	464	△386	78
経常利益	599	△439	160
当期純利益	44	△893	△849

2008年9月リーマンショック発生

	第121期(2010年5月)		
	上期	下期	実績
売上高	34,184	35,848	70,033
営業利益	769	1,036	1,806
経常利益	746	1,444	2,191
当期純利益	322	1,089	1,412

	第122期(2011年5月)		
	上期	下期	実績
売上高	37,112	33,779	70,891
営業利益	827	356	1,184
経常利益	1,071	522	1,594
当期純利益	426	235	662

2011年3月東日本大震災発生

	第123期(2012年5月)見通し		
	上期	下期	実績
売上高	36,223	37,777	74,000
営業利益	172	1,128	1,300
経常利益	241	1,359	1,600
当期純利益	△157	1,007	850

2011年10、11月タイ洪水発生

東日本大震災後、国内産業は落ち着きを取り戻したものの、依然として厳しい状況にある。

- ・労働規制
- ・高法人税
- ・温室効果ガス規制
- ・電力不足
- ・歴史的な超円高
- ・自由貿易協定の対応の遅れ

「何もしないことがリスク」と認識

「変化をおそれず、果敢に挑戦していく住江織物グループ」を合言葉に次期中期計画を策定

メインテーマ

国内

ECOSをはじめとした環境対応商品の拡充

海外

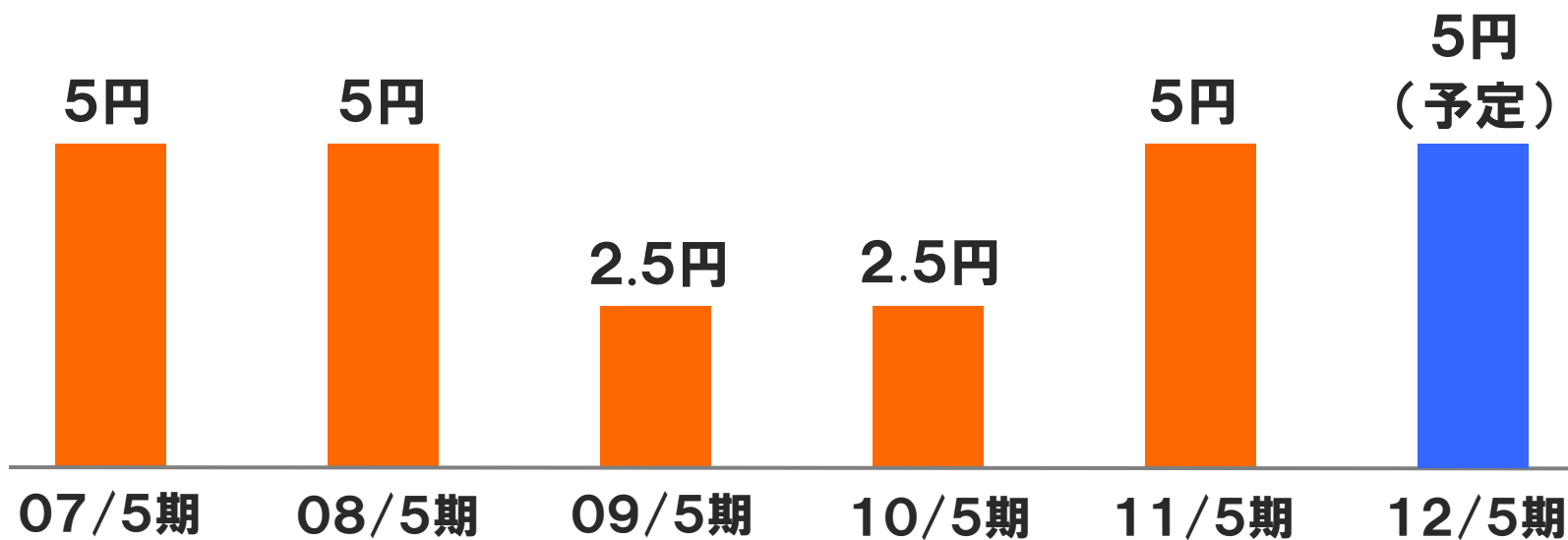
自動車内装材を中心とした海外事業の拡大

中期経営計画がまとまり次第、あらためてご報告いたします。

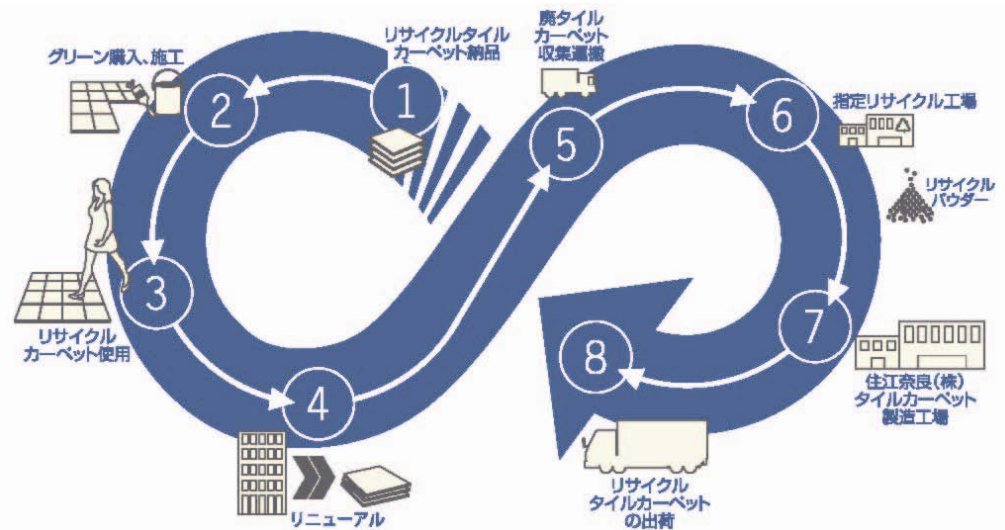
■2012年5月期について

2012年5月期は、中間、期末ともに2円50銭、年間5円の配当を予定しております。

■配当額の推移



循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS」グッドデザイン賞を受賞 16



ECOSバックング材 循環の仕組み

循環型リサイクルタイルカーペット「**ECOS**」が、グッドデザイン賞を受賞しました。世界最高水準の再生材比率(77%)に加え、メーカーとしての取組み、未来に対する企業理念などが評価され受賞にいたりしました。グリーン購入を推進するお客様のお役に立てるよう、積極的に販促し、今後も環境性能とデザイン性を両立したもののづくりに取り組んでまいります。

▶▶ **高い再生材比率**
(最大で77%を達成)

▶▶ **高い安全性、品質**

▶▶ **高いCO2削減率**
(最大43%のCO2削減率)

**エコマーク基準を大幅に上回る
他に類を見ないタイルカーペット**